

令和8年度 宇治市乳幼児教育・保育協働研修 年間計画

対象者の目安となる時期等 初任期(1～6年)・中堅期(7～15年)・充実期(16年以降～)・管理職【あくまで目安で当該時期以外の方も受講は可能です】

A: みんなで創ろう! 『こどもまんなか』研修 B: 知りたい・知ってほしい研修

①教育・保育の質の維持・向上 ②保幼小連携 ③発達・子育て支援

◎: 推奨

No.	大別	分野	月日 (黒字は 決定)	形式						テーマ・内容	対象者の目安				市立幼小 必ず参加	講師・ 実践紹介	
				講演・ 解説	視聴 ビデオ	紹介 実践	実技	公開 授業	意見 交流		初 任	中 堅	充 実	管 理			
1	A	① ② ③	4月28日	○						「宇治市の乳幼児教育・保育を語り合おう」 ～ともに生きて ともに育ち ともにつながる～ パネリストの提案を聴いて、自分たちが大切にしたい教育・保育を語り合います。	○	◎	◎	◎		・宇治市乳幼児教育・保育推進協議会 会長 佐川 早季子 氏 ・宇治市乳幼児教育・保育推進協議会 発達・子育て支援専門部会 部会長 杉本 一久 氏 ・宇治市乳幼児教育・保育推進協議会 保幼小連携専門部会 部会長 松井 明恵 氏	
2	B	③	6月8日	○						「宇治市の就学前後のフォローシステムについて」 発達面で支援が必要な子どもとその保護者に対する宇治市の就学前後のフォローシステム について学び合います。	◎	○	○	○		・学校教育課指導主事 ・保健推進課発達相談員	
3	A	① ② ③	6月18日			○				環境「子どもにとって楽しい保育室を考えよう」 「子どもが安心する保育室って?」「明日早く登園したくなる保育室って?」園内研修 に取り組んだ園の実践やみんなで持ち寄った保育室の悩みやアイデアを交流し合いま しょう。	◎	◎	◎	○		・京都教育大学 教育学部 幼児教育科 准教授 佐川 早季子 氏 ・ひがしうじ幼稚園	
4	B	②	6月25日	○						「令和8年度宇治市のめざす教育・保育」 ※宇治市教職員研修 管理職研修講座と合同実施 乳幼児教育・保育支援センターや教育総合推進センターがめざす教育・保育と他市の先進的事例を参 考に連続性や系統性のある教育・保育について語り合います。管理職同士が架け橋ブロックの顔 の見える関係をスタートさせましょう。	-	-	-	◎	○	・京丹後市立峰山中学校 校長 田辺 健二 氏 ・乳幼児教育・保育支援センター長 ・教育総合推進センター長	
5	A	① ② ③	第1回 7月1日	○		○		○	○	令和8年度 実践研究園 みんなのき三室戸こども園 【研究テーマ】 『インクルーシブ保育の探求とみんなのきの保育実践』 「研究ってなに?」「どうやって進めるの?」研究園や参加者の実践から子どもの姿を 中心に据えた対話と振り返りを通して、明日の実践へと往還的に学び合います。 令和8年度は、インクルーシブ教育の基盤となるインクルーシブな保育について、実践 研究園の研究を通して、学び合い、各園(校)の実践に生かせるようにしましょう。	◎	◎	◎	○	各 校 よ り 一 名 以 上 、 三 回 の う ち 一 回	みんなのき三室戸こども園 園長 杉本 一久 氏	
13			第2回 12月1日	○		○		○	○		◎	◎	◎	○			京都教育大学 教育学部 幼児教育科 准教授 佐川 早季子 氏
16			第3回 1月29日	○		○		○	○		◎	◎	◎	○			
6	B	③	7月28日	○		○	○			「インクルーシブ教育の実現と移行支援シート」 ～切れ目ない支援をめざして～ インクルーシブ教育と移行支援シートを作成した園から作成や活用のポイントを学び合 いましょう。	○	◎	◎	◎		・学校教育課 副課長 ・インクルーシブサポーター ・横島ひいらぎこども園 園長 宇野 智子 氏 ・ひがしうじ幼稚園 特別支援教育コーディネーター 森尾 麻香 氏	
7	A	① ② ③	8月25日			○				「食べること・遊ぶこと」 「子どもの“こうしたい”が現れた姿って?」「その時あなたはどうか関わった?」子 どもの生活や遊びから生まれる食育に関わるエピソードを持ち寄って交流し合いま しょう。	◎	◎	◎	○		・京都府幼児教育センター 架け橋期コーディネーター (スペシャル)依頼中 伴 亜紀 氏 ・ひいらぎこども園 園長 中田 純子 氏	
8	A	① ② ③	8月28日			○				「校内研究のすゝめ」 実践紹介校の校内研究を通して、「支え合い・高め合う」協働的な関係が築ける校内研究 を体験してみましょう。	○	◎	◎	◎		岡屋小学校	
9	A	① ② ③	9月1日			○				「この支援でいいのでしょうか」 「この子らしさを大切に」一方で「○○歳児としてどうだろう」「この行動尊重すべ き?」「集団に戻すべき!」そんなエピソードを持ち寄り、悩みを吐露し合う中で、子 ども自らが育つことを支える教育・保育について考え合います。	◎	◎	○	○		京都教育大学 教育創生リージョナルセンター機構 総合教育臨床センター 講師 榎原 久直 氏	
10	B	③	9月11日	○						「子どもの発達について」～1歳から2歳ごろ～ 乳幼児期の発達段階を学び、その時期の子どもへの関わりを学ぶ。	◎	◎	◎	◎		京都府立大学 社会科学部 教授 服部 敬子 氏	
11	A	① ② ③	11月10日			○				環境「子どもにとって楽しい園庭を考えよう」 「子どもの心が揺れる園庭って?」「子どもが思わず関わりたくなる園庭って?」園内 研修に取り組んだ園の実践やみんなで持ち寄った園庭の悩みやアイデアを交流し合いま しょう。	◎	◎	◎	○		・こひつじこども園 園長 石川 敦子 氏 ・みのり幼稚園 主任 斉藤 あゆみ 氏	
12	B	③	11月17日	○						「ギフテッドの子ども達」 ～特定分野に特異な才能のある乳幼児児童～ ギフテッドの子ども達について知り、必要な支援について学び合います。	○	◎	◎	○		京都教育大学 教育創生リージョナルセンター機構 総合教育臨床センター 講師 伊藤 駿 氏	
14	B	①	12月15日	○						「育ちを支える『保育の音環境』」 乳幼児がより良い環境で遊び、育ち合えるように学び合います。	○	◎	◎	◎		同志社大学 赤ちゃん学研究センター 嘱託研究員 嶋田 容子 氏	
15	B	③	1月で 調整中	○			○			「保護者支援について」 保護者の思いに寄り添い、支援していく姿勢について学び合います。	◎	◎	◎	◎		調整中	
17	A	① ② ③	2月16日	○		○				「子どもが明日園(校)へ行くのが楽しみになるような架け橋ブロックをめ ざして」 今年度における各ブロックの取組等を紹介し合い、子どもが健やかに育ち学ぶために私た ちは何が出来るのか次年度に向けて語り合います。	○	◎	◎	◎	○	京都教育大学 教育学部 幼児教育科 教授 古賀 松香 氏	